

都市再生整備計画 事後評価シート
大通駅周辺地区

令和6年3月

北海道札幌市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	北海道		市町村名	札幌市		地区名	大通駅周辺地区			面積	27.6ha		
交付期間	平成28年度～令和4年度		事後評価実施時期	令和5年度		交付対象事業費	471.8百万円		国費率	0.447			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	南2西3自転車駐車場整備事業									
			提案事業	自転車等放置禁止区域対策事業									
	当初計画から削除した事業		基幹事業	-			-		-				
			提案事業	-			-		-				
	新たに追加した事業		基幹事業	-			-		-				
			提案事業	-			-		-				
交付期間の変更	当初	平成28年度～平成32年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし							
	変更	平成28年度～令和4年度											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	指標1	路上放置自転車数	台	2,621	H26	111	R5	-	74	○	あり なし	南2西3地下自転車駐車場等を整備し、本計画区域を含む周辺を自転車等放置禁止区域に指定することで、路上放置自転車が減少した。	
	指標2	駐輪需要充足率	%	13.50	H26	100	R5	-	100	○	あり なし	南2西3地下自転車駐車場等の整備により、本計画区域内に乗り入れている自転車台数を全て受け入れることができる駐輪場の容量を確保できた。	
	指標3										あり なし		
	指標4										あり なし		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	その他の数値指標1	-											
	その他の数値指標2	-											
その他の数値指標3	-												
4)定性的な効果発現状況	南2西3地下自転車駐車場等を整備し、路上放置自転車が減少したことにより、市民や観光客、車いす利用者など全ての歩行者が安心して通行できる歩行空間を確保するとともに、無秩序に放置された自転車が無くなることによって都市景観が改善され、都心部の魅力向上に寄与した。												
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング	-				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	官民連携による取組	-				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	持続的なまちづくり体制の構築	-				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							

様式2-2 地区の概要

大通駅周辺地区(北海道札幌市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標: 道都札幌にふさわしい活気に満ちあふれた魅力ある都心の実現 目標: ゆとりある歩行空間を確保し、歩行者の移動環境を向上させる	路上放置自転車数	単位: 台	2,621 H26	111 R5	74 R5
	駐輪需要充足率	単位: %	13.50 H26	100 R5	100 R5



まちの課題の変化	・南2西3地下自転車駐車場等を整備し、本計画区域を含む周辺を自転車等放置禁止区域に指定することにより、課題となっていた放置自転車が減少し、歩行者が安心して通行できる歩行空間を確保するとともに、都市景観が改善された。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	・南2西3地下自転車駐車場や関連事業で整備された西2丁目線地下自転車等駐車場などの利用促進や、放置自転車の撤去など総合的な駐輪対策を継続し、観光客や車いす利用者など全ての人が安心して通行できる歩行環境を確保するとともに、放置自転車が無い都市景観を継続させ、都心部の魅力向上に寄与することで、市民はもとより、コロナ禍から回復してきている国内旅行者やインバウンドによる賑わいの創出に繋げる。

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 官民連携による取組みの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他()		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路									
公園									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設	南2西3自転車駐車場整備事業	356.0		471.1		令和3年に計画変更(第4回)して金額の変更	都市再生整備計画の計画期間の変更(H28~H32→H28~R4)	●	
高質空間形成施設									
高次都市施設									
既存建造物活用事業									
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地総合整備事業									

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業									
事業活用調査									
まちづくり 活動推進事業	啓発・研修活動	12	自転車等放置禁止 区域対象事業	0.7	自転車等放置禁止 区域対象事業	一部他事業で実施したことによる、 補助対象事業費の減。	なし	●	

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考) 関連事業								
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更 計画	当初計画	最終変更計画		
南2西3南西地区市街地再開発事業		札幌市中央区南2条西3丁目	17,120	6,222	H25～H31	H25～R4	R4完了済み	
西2丁目線地下自転車等駐車場整備事業		西2丁目線(南1条～南2条)	3,200	2,515	H27～H31	H27～R3	R3完了済み	
官民協働運営方式モデル事業による駐輪場整備事業		札幌市中央区南2条西4丁目	-	188.2	H27～H28	H27～H28	H28完了済み	

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指 標	単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の 達成見込みの 有無		
			基準 年度		基準 年度		目標 年度						あり	なし		
指標1	路上放置自転車数	台	本計画区域内における路上放置自転車台数(平日15時ごろ)を調査し、集計・算出した。			2,621	H26	111	R5	モニタリング	—	—	モニタリング	—		
										事後評価	確定見込み	●	74	事後評価		
指標2	駐輪需要充足率	%	本計画区域内における自転車乗入台数(平日15時ごろ)を調査し、それに対する整備済みの駐輪場容量の割合について集計・算出した。			13.5	H26	100	R5	モニタリング	—	—	モニタリング	—		
										事後評価	確定見込み	●	100	事後評価		
指標3										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み			事後評価		
指標4										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み			事後評価		
指標5										モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定見込み			事後評価		

指 標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	南2西3地下自転車駐車場等を整備し、本計画区域を含む周辺を自転車等放置禁止区域に指定することで、路上放置自転車が減少した。	
指標2	南2西3地下自転車駐車場等の整備により、計画区域内に乗り入れている自転車台数を全て受け入れることのできる駐輪場の容量を確保できた。	
指標3		
指標4		
指標5		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○ : 評価値が目標値を上回った場合

△ : 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

× : 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
			基準 年度	基準 年度	基準 年度	基準 年度	モニタリング	事後評価	事後評価		
その他の 数値指標1	-						モニタリング				
							事後評価	確定 見込み			
その他の 数値指標2	-						モニタリング				
							事後評価	確定 見込み			
その他の 数値指標3	-						モニタリング				
							事後評価	確定 見込み			

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

南2西3地下自転車駐車場等を整備し、路上放置自転車が減少したことにより、市民や観光客、車いす利用者など全ての歩行者が安心して通行できる歩行空間を確保するとともに、無秩序に放置された自転車が無くなること
によって都市景観が改善され、都心部の魅力向上に寄与した。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
実施なし	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

添付様式3-② 官民連携による取組の実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
実施なし	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
実施なし	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内等組織による検討	札幌市まちづくり政策局都市計画部事業推進課 札幌市建設局総務部自転車対策担当課	令和6年2月	札幌市建設局総務部自転車対策担当課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標○		指標○		指標○		指標○	
指標名		路上放置自転車数		駐輪需要充足率					
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	南2西3自転車駐車場整備事業	◎	南2西3自転車駐車場等を整備し、本計画区域を含む周辺を自転車等放置禁止区域に指定したことで、駐輪場が利用されるようになり、路上放置自転車の減少に寄与した。	◎	南2西3自転車駐車場等を整備したことにより、駐輪場台数を確保することができ、駐輪場充足率の向上につながった。				
	自転車等放置禁止区域対象事業	◎		-					
提案事業									
関連事業	南2西3南西地区市街地再開発事業	○		○					
	西2丁目線地下自転車等駐車場整備事業	◎		◎					
	官民協働運営方式モデル事業による駐輪場整備事業	◎		◎					

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	整備した施設を適切に維持管理するとともに、放置自転車の撤去・啓発や、駐輪場への誘導を行い、引き続き路上放置自転車の減少に努める。	整備した施設を適切に維持管理するとともに、引き続き駐輪場の周知を行い、駐輪場の利用促進に努める。		
-------	--	--	--	--

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標○			指標○			指標○			指標○		
指標名													
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業													
提案事業													
関連事業													

※目標未達成への影響度

- ××: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △: 数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- ー: 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類Ⅰ: 内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅱ: 外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅲ: 外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類Ⅳ: 内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)			
------------------	--	--	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内等組織による検討	札幌市まちづくり政策局都市計画部事業推進課 札幌市建設局総務部自転車対策担当課	令和6年2月	札幌市建設局総務部自転車対策担当課

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
路上放置自転車の台数が全国でも上位である当地区において、都市景観の改善や歩行者の移動環境の向上の為に、総合的な駐輪対策の推進が求められている。	・南2西3地下自転車駐車場等を整備し、本計画区域を含む周辺を自転車等放置禁止区域に指定することにより、課題となっていた放置自転車が減少し、歩行者が安心して通行できる歩行空間を確保するとともに、都市景観が改善された。		自転車等放置禁止区域に指定した範囲は放置自転車が減少したものの、放置禁止区域外で放置自転車が増加している箇所もあり、新たな課題となっている。

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	放置自転車が無くゆとりのある歩行空間、良好な都市景観	南2西3地下自転車駐車場や関連事業で整備された西2丁目線地下自転車等駐車場などの利用促進や、放置自転車の撤去など総合的な駐輪対策を継続し、さらなる放置自転車の減少を図る。	

B欄 改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	自転車等放置禁止区域外に一部の放置自転車が流出していることによる、区域外の歩行環境の悪化。	需要のある箇所への新たな駐輪場整備、既存駐輪場の周知、啓発等の対策を検討する。	自転車利用実態調査、新規の駐輪場整備事業の検討 など
	・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策		

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
-	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
-	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画		
			年度	年度	年度	年度					予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	路上放置自転車数	台	2,621	H26	111	R5	確定 ●	74	○	あり	→		
							見込み			なし			
指標2	駐輪需要充足率	%	13.50	H26	100	R5	確定 ●	100	○	あり	→		
							見込み			なし			
指標3				H		H	確定			あり	→		
							見込み			なし			
指標4				H		H	確定			あり	→		
							見込み			なし			
指標5				H		H	確定			あり	→		
							見込み			なし			
その他の数値指標1				H			確定				→		
							見込み						
その他の数値指標2				H			確定				→		
							見込み						
その他の数値指標3				H			確定				→		
							見込み						

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	数値目標を達成することができ、実現性の高い目標を設定できたと考えられる。	需要に対し適切な施設を整備するためには、計画段階において、完了後の事業成果を的確に想定することが有効である。
	うまく いかなかった点	特になし	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
住民参加 ・情報公開	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		

添付様式6－参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)